

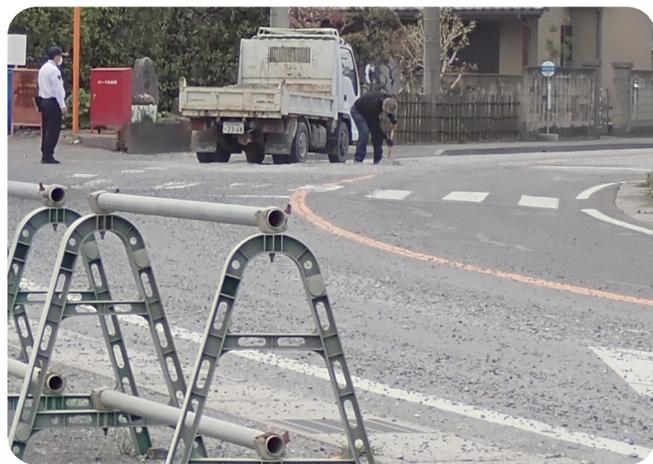
CTGの建交労 とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
 栃木県本部 〒327-0315
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
 TEL 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
 www.kenkourou.or.jp/
 E-mail:dqj06744@nifty.com

物価高騰限界・消費税率の引き下げこそ必要 まず暫定税率(軽油約17円)撤廃を!



野党の足並みそろわず暫定税率実施中



4/17 約400mにわたり大量落石(佐野市県道126号線)



4/11 左後輪脱落し車5台と衝突(宇都宮市国道新4号)

「売上に占める」燃料4割超えが当たり前、地域で一番安い『コストコ』のスタンドまで40分回り道して入れに行く」と鈴木誠二さん。米も下がらず物価高は組合員の生活を直撃しています。政府がまずやるべきは、暫定税率の撤廃です。軽油で約17円、ガソリン約25円が暫定分です。与野党間で合意しているにもかかわらず、夏の参議院選挙を前に各党の思惑で実施にブレーキがかかっています。

「売上」に占める燃料4割超えが当たり前、地域で一番安い『コストコ』のスタンドまで40分回り道して入れに行く」と鈴木誠二さん。米も下がらず物価高は組合員の生活を直撃しています。政府がまずやるべきは、暫定税率の撤廃です。軽油で約17円、ガソリン約25円が暫定分です。与野党間で合意しているにもかかわらず、夏の参議院選挙を前に各党の思惑で実施にブレーキがかかっています。

食料品、燃料など物価高騰が続いています。生活必需品の支出割合が高い低所得者ほど、家計負担の増加率が高くなっています。最も有効なのが消費税率の引き下げです。まず政府は一刻も早く、方針化した「暫定税率」の廃止を実施すべきです。

「売上」に占める燃料4割超えが当たり前、地域で一番安い『コストコ』のスタンドまで40分回り道して入れに行く」と鈴木誠二さん。米も下がらず物価高は組合員の生活を直撃しています。政府がまずやるべきは、暫定税率の撤廃です。軽油で約17円、ガソリン約25円が暫定分です。与野党間で合意しているにもかかわらず、夏の参議院選挙を前に各党の思惑で実施にブレーキがかかっています。

落石・車輪脱落防止徹底を

スマホ、ドラレコの普及により「幅寄せされた」「落石にあった」等、市民やドライバーから組合事務所に電話、メールで「苦情」の入ることが増えています。いまや公道ではつねに「撮影」されていると自覚して運転することが必要です。今月宇都宮市新4号でホイールボルト破断によるタイヤ脱落事故が発生、ひとつ間違えば重大な人身事故になっていました。国交省、業界団体はいま「おとさない(右)を合言葉に大型車タイヤ脱落防止に取り組んでいます。

防ごう大型車の車輪脱落事故

おとさない

- おとさないための点検整備**
事前の正しい点検や大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。
- トルクレンチで適正締付**
適正トルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。
- さびたナットは清掃交換**
ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗料などを取り除きます。
- ナット・ワッシャー隙間に給脂**
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーの間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油なじませてください。
- いちにち一度はゆるみの点検**
運行前に特に規格が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触るなどで点検します。

加齢・病気による安全運転相談

加齢や病気などの影響で運転に不安を抱えるドライバーから2024年に栃木県警に寄せられた安全運転相談は、前年比329件(12%増)の3053件に上り過去最多だったことが明らかになりました。

加齢にともなう身体機能の低下は避けられません。定年制度のない組合員が多く在籍する組合にとって、極めて重要な課題になっています。

65歳以上適齢診断を

重大事故の前に

組合員の高齢化にともない事故が増えています。

組合では「とちぎ安全教育センター」と連携して、65歳以上の希望者を対象にした適齢診断に取り組めます。運送事業者(青ナンバー)の場合、法令で義務となっている適齢診断を組合員であれば個人で受けることができます。

1月以降信号待ちで停止中、ブレーキから足が離れ車体が動き出して追突(逆突)する事故が続きました。注意力低下が原因と思われる。

診断結果を基に加齢による身体機能の変化



14年前の2011年4月、鹿沼市でクレーン車が登校する児童の列に衝突し6人が死亡。運転者は持病を隠して勤務していた。

と運転行動への影響を認識してもらい、事故防止のため身体機能の変化に応じた注意などを専門家から指導、助言していただきます。

また、警察では身体の衰えや病気による安全運転相談や適性検査予約を行っています。電話 #8080

発信場所を管轄する警察につながります。

運送業者更新制 悪質業者排除

トラック運送業許可を5年ごとに更新する法改正が今国会で予定されています。

法令違反やダンピング等悪質業者の排除が目的で、安全対策や運転手の処遇も確認する内容です。

軽貨物についても事故増加対策として、今年4月から安全管理者講習などが義務化されました。

運送業界全体が規制強化に進むなかで、いまだ「昭和の制度設計」なのがダンブ業界です。

昭和42年の高度成長期、建設業界の都合でつくられたダンブカー規制法を根拠法とするダンブ業界。

社会の変化に対応した法整備が求められています。

組合員紹介 エアケミ運輸分会 荒牧丈夫さん



不当解雇を撤回させ 職場に復帰し定年に

さくら市にある産業ガス運輸会社エアケミ運輸(株)で働く組合員荒牧丈夫さん(60)はこの春勤続26年で定年を迎えました。しかしそのドライバー人生は、波乱に満ちたものでした。

荒牧さんは2007年10月、会社から「あなたがいると退職する社員がいるから」という理由で解雇されました。

むちゃくちゃな解雇理由ですが、そもそもそのような事実がなかったことが、乗務員らの証言、録音記録等で明らかになりました。

仲間を信頼して組合活動

組合では団体交渉だけでは限界があると、親会社や取引企業などに要請行動を展開、さらにグループトップの岩谷産業社長に「グループ全体の社会的信用を失墜させる重大問題」としてのドライバー人生と争議の解決を決断するよう迫りました。

「物言う社員を排除しようとするこんな不当な解雇は許せない」と多くの組合員が要請行動などに参加、闘いのなかで職場に組合もできました。

その結果、会社は解雇を撤回し、翌年2月職場復帰が実現しました。

た。会社は非を認め、本人、家族に対する謝罪、解雇中の補償、慰謝料なども勝ち取り、まさに完全勝利でした。

復帰から17年、組合を土台に会社と正常な労使関係を確立し、ドライバーとして業務を全うしました。



親会社に解雇撤回、職場復帰を訴える



関係企業への要請行動



要請行動には多くの組合員が職場の枠を超えて参加

◎一度解雇された職場に戻り定年まで働く。先月職場復帰を実現した関東耐火の猪瀬さんにもめざしてほしい！